

C106		日本美術史	
英名科目名	History of Japanese Art		
大学名	京都工芸繊維大学		
連絡先	学務課学部教務係 TEL:075-724-7221 FAX:075-724-7120		
担当教員	井戸美里		
開講期間	2021年04月09日(金)～2021年07月20日(火) 1講時 8時50分～10時20分(毎週金曜日) 「その他特記事項」も併せてご確認ください。		
開講形態	前期・春学期	開講曜日・講時	金曜日 1講時
単位数	2	履修年次	1年次以上
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	120		
単位互換生定員	20	京カレッジ生定員	
試験・評価方法	学期末のレポートおよび授業のテーマごとのリアクションペーパーなどにより総合的に評価する。		
超過時の選考方法	書類選考		
受講料			
別途負担費用	なし		
その他特記事項	<p>講義の実施教室及び授業日の振替え、大学行事に伴う休講については「京都工芸繊維大学 学生情報ポータル」のお知らせ欄をご覧ください。(3月下旬掲示予定) https://www.gakumu.kit.ac.jp/ead/ead_portal/</p> <p>なお、新型コロナウイルス感染症の状況により、授業形式等のシラバスの内容に変更が生じることがありますので、予めご了承の上、出願をお願いします。</p>		
パッケージ科目			
低回生受講推奨科目			
講義概要・到達目標			
<p>日本の美術作品を理解するために、今年度は、日本美術の自然表現について見ていく。特に絵画作品に描かれた山水や草木、花鳥などの自然表現について、時代や流派、ジャンルにおける描き方の特徴を、当時の社会や生活文化を通して明らかにしていきたい。平安時代や鎌倉時代の宮廷や社寺の室礼として使用された襖絵や屏風絵に映し出された四季折々の風景、絵巻物に描かれた物語のなかの自然表現、江戸時代の琳派や浮世絵、さらには近代の日本画や洋画においてそれらがどのように展開していったのか、毎回、テーマを設定し時代順に具体的な作品を取り上げる。</p> <p>現代においては、「作品」として美術館のなかでしか鑑賞することのできないこれらの絵画が、当時、どのような場で用いられ、どのような思いから制作され、何を伝えたかったのか、ということそれぞれ考える機会としてもらいたい。</p>			
講義スケジュール			
01 イン트로ダクション 02 描かれた山水(1) 03 描かれた草木(1) 04 描かれた山水(2) 05 描かれた花鳥と花木(1) 06 描かれた山水(3) 07 描かれた山水(4) 08 描かれた花鳥と花木(2) 09 描かれた草木(2) 10 描かれた草木(3) 11 描かれた花鳥と花木(3) 12 描かれた山水(5) 13 近代絵画と自然表現(1) 14 近代絵画と自然表現(2) 15 まとめ			
教科書			
参考書	参考図書： 辻惟雄『日本美術の歴史』(東大出版会、2005年)		